

第42期
事業報告書

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

一般社団法人 環境創造研究センター

愛知県名古屋市中区東桜二丁目4番1号

第 42 期〔平成 29 年度〕事業報告

当センターは、昭和 51 年に愛知県知事認可法人として、地域における自然・社会の複合的環境に関する科学的研究を行うとともに、その体系化の確立と普及を図り、望ましい人間環境の保全と創造に寄与することを目的として設立され、その後、平成 25 年に一般社団法人へと移行し、丸 5 年が経過しました。

また、平成 15 年に愛知県知事より「愛知県地球温暖化防止活動推進センター」の指定、その後、平成 20 年、25 年に再指定、さらに、今年 30 年 3 月に向こう 5 カ年の指定を受け、地球温暖化に関わる情報の発信や地球温暖化防止活動の支援など、愛知県における地球温暖化防止活動の拠点としても役割を担い、現在に至っております。

平成 29 年度〔第 42 期〕においても、公益目的事業としての機関誌「環境」の発行や講演会・セミナー等の開催を通して、環境に関する情報を発信することで、地域住民や事業者等に対し、環境に関する今日的テーマの普及・啓発を推進することに努めてきました。また、地球温暖化防止活動の拠点として、県内の住民や事業者の地球温暖化防止活動の活性化に向けた各種事業を実施することができました。

一方、委託事業・補助事業等については、一般社団法人への移行後、各年度で若干の増減がありますが、ほぼ横ばいで推移しています。今期〔第 42 期〕は、市町村の委託事業の増加に伴い、前期〔第 41 期〕に比べ、件数及び金額ともに増加しました。

これからも、公益目的事業、及び収益事業の更なる実施に努めると共に、持続可能な地域社会の構築を目指し、環境の保全と創造のため、住民や事業者に向けた地道な普及啓発活動を継続的に行うとともに、住民及び事業者と行政の連携、協働による取り組みの推進役としての役割を担ってまいります。

I. 事業の実施状況

(1) 公益目的事業 1 (機関誌「環境」の発行【定款第 4 条第 1 項の (5)】)

項目	事業内容 (敬称略)
会員の状況	正会員数 46 名 (個人: 42 名, 法人: 4 名) 機関誌「環境」定期購読者 9 名 (平成 30 年 4 月 1 日現在)
機関誌等の発行	『環境』144 号 平成 29 年 6 月 24 日発行 (発行部数: 400 部) ・講演記録「成長の限界、ファクター4、そして循環経済」 (中部大学総合工学研究所 教授 林 良嗣) ・身近な自然を楽しむ～夏「天然ウナギを釣る」 (釣り人 工藤秀和)

・特集

<市民と事業者の連携・協働によるフロン対策の継続実施セミナーⅡ>

1. フロンと私たちの暮らし～フロン処理、誰がコストを負担する～
(三菱UFJリサーチ&コンサルタント
社会システム共創部 部長兼プリンシパル 矢野昌彦)
2. 紫外線と上手く付き合う方法～暮らしと化粧品～
(金城学院大学 非常勤講師/医学博士 岡田富雄)
3. フロンとオゾン層、そして地球温暖化～更なるフロン対策の実施
(中部大学中部高等学術研究所 所長 福井弘道)
4. トークセッション

<フロン処理、誰がコストを負担する？

～連携・協働によるフロン対策～>

パネリスト：矢野昌彦（三菱UFJリサーチ&コンサルタント）

パネリスト：岡田富雄（金城学院大学非常勤講師/医学博士）

パネリスト：岩坂泰信（名古屋大学名誉教授）

パネリスト：福井弘道（中部大学中部高等学術研究所所長）

コーディネーター：児玉剛則（名古屋産業大学非常勤講師）

・愛知県環境部重点施策

<平成28年度 愛知県環境部の主要事業>

『環境』145号 平成29年11月25日発行（発行部数：400部）

- ・講演記録「日本の豊かな多文化共生社会の構築に向けて」
(金城学院大学 教授 佐藤久美)
- ・講演記録「省エネ・節電、続けていますか？」
(朝日新聞 文化暮らし報道部be編集部記者 斎藤健一郎)
- ・身近な自然を楽しむ～初冬「カワハギ釣り」
(釣り人 工藤秀和)
- ・講演記録「環境科学カフェ+」(その1)
～名古屋城でフロンのなかった江戸時代に想いを馳せる～
(名古屋産業大学大学院 非常勤講師 児玉剛則)
(名古屋城観光ガイドボランティア 今川春人)

『環境』146号 平成30年3月26日発行（発行部数：400部）

- ・講演記録「地域から地球へ！パリ協定から見た地球温暖化対策のあり方」
～我々は何をすべきか～
(名古屋大学 特任准教授 杉山範子)
- ・講演記録「低炭素交通の実現を目指した地域の地道な取組み」
～エコドライブ・次世代自動車の普及をテーマとして～
(公益財団法人豊田都市交通研究所 主任研究員 加藤秀樹)
- ・身近な自然を楽しむ～春から夏「シロギス釣り」
(釣り人 工藤秀和)
- ・講演記録「環境科学カフェ+」(その2)
～フロンという教訓から人新世・現代文明が語りかけるもの～
(中部大学中部高等学術研究所 所長 福井弘道)

(2) 公益目的事業2 (講演会及びセミナー等の開催) 【定款第4条第1項の(4)】

項 目	事 業 内 容 (敬称略)
講演会・セミナー	<p><環境創造・環境共生講演会> ○開催：平成29年6月15日 会場：ウインクあいち(参加者41名) 講師 金城学院大学 教授 佐藤久美氏 演題「日本の多様な多文化共生社会の構築に向けて」</p> <p>○開催：平成29年10月29日 会場：雲龍山 勝興寺 本堂(富山県高岡市伏木)(参加者43名) <講演1> 講師 名古屋大学 名誉教授 岩坂泰信氏 演題「『空気の日』が意味すること」 <講演2> 講師 中部大学中部高等学術研究所 所長 福井弘道氏 演題「現代文明を表す『人新世』～フロン問題を教訓として」 <トークセッション> 「『空気』の存在を意識する」 パネリスト：勝興寺文化財保存・活用事業団専務理事 高田克宏氏 名古屋大学名誉教授 岩坂泰信氏 中部大学中部高等学術研究所所長 福井弘道氏 名古屋産業大学大学院非常勤講師 児玉剛則氏 コーディネーター：中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏</p> <p>○開催：平成30年3月23日 会場：名古屋港ポートビル 4階 講堂(参加者58名) <講演1> 講師 韓国建国大学校 教授 Yoon Shin Kim氏 演題 「Air is Our Life ～空気は生命～」 <講演2> 講師 名古屋大学 名誉教授 岩坂泰信氏 演題 「『空気中にすてる』を考える」 <トークセッション> 「拡がりつづける空気～汚れた空気の拡散～」 パネリスト：韓国建国大学校教授 Yoon Shin Kim氏 名古屋大学名誉教授 岩坂泰信氏 中部大学中部高等学術研究所所長 福井弘道氏 名古屋産業大学大学院非常勤講師 児玉剛則氏 コーディネーター：中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏 <見学会> 「南極観測船ふじ」解説ガイド付き見学会</p> <p><愛知県地球温暖化防止活動推進センター講演会> ○開催：平成29年8月2日 会場：名古屋都市センター(参加者38名) 主催：愛知県地球温暖化防止活動推進センター (一般社団法人 環境創造研究センター) 講師 朝日新聞 文化暮らし報道部 be編集部記者 斎藤健一郎氏 演題「省エネ・節電、続けていますか？」</p> <p><その他講演会・セミナーI(推進員セミナー関連)> ○開催：平成29年10月23日 会場：ウインクあいち(参加者36名)</p>

話題提供：「地域から地球へ！パリ協定から見た地球温暖化対策のあり方」
～我々は何をすべきか～
講師：名古屋大学 特任准教授 杉山範子氏

○開催：平成 29 年 11 月 6 日
会場：ウインクあいち（参加者 36 名）
話題提供：「低炭素交通の実現を目指した地域の地道な取組み」
～エコドライブ・次世代自動車の普及をテーマとして～
講師：公益財団法人豊田都市交通研究所 加藤秀樹氏

○開催：平成 30 年 1 月 26 日
会場：ウインクあいち（参加者 53 名）
話題提供 1：「気候変動の適応策における地域の役割」
講師：茨城大学農学部 准教授 益富祐司氏
話題提供 2：「環境の学びを“伝える”ために」
講師：ビオトープ・ネットワーク中部 会長 長谷川明子氏

<その他講演会・セミナーⅡ（フロン対策セミナー関連）>

○開催：平成 29 年 11 月 2 日
会場：長野県飯田市 市役所会議室（参加者 32 名）
テーマ：フロンリレーセミナーin 長野県
「青空は誰のもの？～フロン対策と地球温暖化問題～」
講師：中部大学中部高等学術研究所所長 福井弘道氏
中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏

○開催：平成 29 年 11 月 22 日
会場：石川県珠洲市 ラポルトすず 市民サロン（参加者 39 名）
テーマ：フロンリレーセミナーin 石川県
「青空は誰のもの？～フロン対策と地球温暖化問題～」
講師：名古屋大学名誉教授 岩坂泰信氏
中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏

○開催：平成 29 年 12 月 2 日
会場：岐阜県岐阜市 駅前会議室（参加者 35 名）
テーマ：フロンリレーセミナーin 岐阜県
「青空は誰のもの？～フロン対策と地球温暖化問題～」
講師：名古屋大学名誉教授 岩坂泰信氏
中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏

○開催：平成 30 年 1 月 11 日
会場：福井県福井市 福井国際交流会館（参加者 30 名）
テーマ：フロンリレーセミナーin 福井県
「青空は誰のもの？～フロン対策と地球温暖化問題～」
講師：中部大学中部高等学術研究所所長 福井弘道氏
中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏

○開催：平成 30 年 1 月 24 日
会場：三重県津市 環境保全事業団研修室（参加者 35 名）
テーマ：フロンリレーセミナーin 三重県
「青空は誰のもの？～フロン対策と地球温暖化問題～」
講師：名古屋大学名誉教授 岩坂泰信氏
名古屋産業大学大学院非常勤講師 児玉剛則氏
中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏

(3) その他事業(委託事業・補助事業など)【定款第4条第1項の(1)、(2)、(3)】

<委託事業>

受託先	件名	内容
愛知県	平成29年度 地球温暖化防止活動普及啓発事業(*)	「あいち緑のカーテンコンテスト」の募集・受付・ツール作成。地球温暖化防止活動推進員の研修、及び推進員の年間活動報告書のとりまとめ。地球温暖化対策地域協議会の活動とりまとめ等を実施。 また、環境家計簿を活用した「わが家の省エネ&CO2 ダイエット作戦」を継続実施。
名古屋市	平成29年度 うちエコ診断モデル実施業務	名古屋市環境局の依頼により、住宅展示場「黒川ハウジングセンター」のセンターハウスにおいて、環境省のうちエコ診断をモデル的に実施する業務。 展示場来場者の中で希望者に簡易的な「うちエコ診断」を実施し、「うちエコ診断」のPRそして受診者の家庭におけるエネルギー使用状況とCO2排出量を見える化し、家庭における省エネ活動を支援。
豊田市	平成29年度 環境教育用教材作成業務	豊田市における「環境の保全を推進する協定協議会」の部会が作成した案を基に、環境に対する取組や環境法令順守に関する環境教育用教材を作成。 作成した教材は、「水質・地下水・土壌」(A4, 40頁、2,000部)と「化学物質・リスクコミュニケーション」(A4, 32頁、2,000部)の2種類で、教材の編集及び紙面デザイン、グリーンプリンティングマーク対応の印刷を実施。
日進市	平成29年度 にっしん省エネ倶楽部「COOL CHOICE 事業」業務委託	環境省の「地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業」を活用した業務委託であり、日進市の省エネ倶楽部活動として低炭素地域づくりに向けた以下の事業を実施。 <子どもの環境教育を通じた家庭の省エネ活動> ○学校・学童保育における子ども省エネ教室。 ○高等学校クラブ活動における省エネWS。 ○日進市子ども会大会へのブース出展。 <COOL CHOICE の推進> ○ESD 講座・イベントでの COOL CHOICE 普及啓発 ○転入者への COOL CHOICE 普及啓発 ○市民活動団体への COOL CHOICE 普及啓発 <LED 購入キャンペーンの実施> <にっしんクールライフハンドブックの作成> ○地域情報の取材とデータ収集 ○市民アンケートで COOL CHOICE 情報の発信 ○にっしんクールライフハンドブック (A4, 16 頁、6,000 部) を作成。COOL CHOICE を市民に PR。

受託先	件名	内容
長久手市	平成 29 年度 「ながくて COOL CHOICE 普及啓発事業」 支援業務委託	<p>環境省の「地方公共団体と連携した CO2 排出削減促進事業」を活用した業務委託であり、低炭素地域づくりに向けた以下の事業を実施。</p> <p>①COOL CHOICE 普及啓発ツール「エコライフトライアルアンケート」の作成配布。</p> <p>②地域共生ステーション等での COOL CHOICE 連続講座の実施。</p> <p>③長久手っ子省エネ教室の開催。</p> <p>④クールシェア、ウォームシェアの実施。</p> <p>⑤市民まつりエコサテライトブース出展。</p>
春日井市	平成 29 年度 「かすがいエコオフィス・家庭連携 COOL CHOICE 推進事業」 業務委託	<p>環境省の「地方公共団体と連携した CO2 排出削減促進事業」を活用した業務委託であり、低炭素地域づくりに向けた以下の事業を実施。</p> <p>①市民・地域への「COOL CHOICE」普及啓発活動。</p> <p>②子どもから家庭への「COOL CHOICE」普及活動。</p> <p>③事業者への「COOL CHOICE」普及啓発活動。</p> <p>④小規模事業所の簡易省エネ診断の実施。</p> <p>⑤かすがいエコオフィスの取組み支援と拡大。</p> <p>⑥従業員向けセミナーの実施と普及啓発。</p>
環境省/みずほ情報総研(株)	地球温暖化防止コミュニケーター支援事業	<p>2030 年度削減目標の達成に向け、日本が世界に誇る低炭素型の「製品」「サービス」「ライフスタイル」など温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」を産業界・労働界・自治体・NPO 等と連携して推進する必要がある。</p> <p>本業務は、地球温暖化対策として重要な普及啓発や情報発信活動を担う「地球温暖化防止コミュニケーターの各地域における活動の推進支援を行い、民生部門や家庭における重要な対策である「国民運動」を推進することを目的とし、①地域内のコミュニケーターの管理及び活動支援、②周辺地域の関連団体に向けたコミュニケーターの活動紹介を実施。</p>
名古屋大学 持続的共発展教育研究センター	世界首長誓約普及促進モデル事業	<p>世界気候エネルギー気候首長誓約/日本の都道府県地球温暖化防止活動推進センターによる普及促進のためのモデル事業。</p> <p>①各都道府県地球温暖化防止活動推進センターへの世界気候エネルギー気候首長誓約(世界首長誓約/日本)の案内の作成・送付。</p> <p>②2017 年 12 月に岡崎市において、愛知県下の市町村の気候・エネルギー担当者を集め、日本版首長誓約の経験、世界首長誓約/日本の説明会を開催。</p>

受託先	件 名	内 容
中部電力㈱	ホールディング企業などの環境管理・経営の実態調査	<p>平成 27 年 6 月に改正電気事業法が成立し、電力会社は、平成 32 年までに送配電（ネットワーク）部門を分社化（法的分離）。ホールディングス制への移行も含め分社化が進展する中、環境管理・経営は、分社化後においても一体的・効果的に実施していくことが必要。本業務はホールディングス企業・他電力などにおける以下の事項を調査・分析。</p> <p>①環境管理・経営の実態調査 ②環境情報の発信状況についての実態調査 ③従業員向け環境教育の実態調査 ④結果のとりまとめ、提言と報告書の作成</p>
中部電力㈱ 名古屋支店	平成 29 年度 エネルギー関連施設見学企画・運営業務	<p>学生や市民に、エネルギー全般について共に考える場を提供することを目的に、エネルギー関連施設の見学会の企画・運営を実施。</p> <p>具体的には、学生を対象に「浜岡原子力発電所」の見学会（2 回）、推進員等を対象に「川越火力発電所&新青山高原風力発電所」の見学会、「長良川水力発電所&トヨタエコフルタウン等」の見学会を実施。</p>
東邦ガス㈱	平成 29 年度 ビオトープ活用ワークショップ運営業務	<p>東邦ガス「ガスエネルギー館」の敷地に整備されたビオトープ広場を活用し、ビオトープワークショップを開催運営（1 回）。</p> <p>「親子で遊んで学ぼう！ビオトープ」は、なごや環境大学の一環として、親子を対象として 3 月の春休みに実施。</p>
木曾岬メガソーラ㈱	平成 29 年度 弥富地区環境学習支援事業（*）	<p>木曾岬メガソーラー㈱が木曾岬干拓地に建設したメガソーラー発電所は敷地面積 78ha（ナゴヤドーム約 20 個分）にパネル約 20 万枚を張り詰め、1 年間で一般家庭 14,500 世帯分の電力を発電。</p> <p>同発電所を安定的に運営維持するうえで、地域の理解・協力が必要不可欠であり、地元の愛知県弥富市及び三重県木曾岬町、桑名市長島町の小・中学校に対する環境学習の支援を実施。</p>
(株) 創建	平成 29 年度 技術支援業務	<p>(株) 創建が実施するコンサルタント業務等に関し、業務の指導・アドバイス、又は照査を担当し、関連業務の打合せ等に参加すると共に、それらの業務成果物等の内容の精査を実施し、関係業務における技術的な支援を実施。</p>

<補助事業>

補助元	件名	内容
環境省／全国センター	平成 29 年度 地域における地球温暖化防止活動促進事業 ＜基盤形成事業＞（愛知県） （*）	温対法に基づき、地域における地球温暖化防止活動の基盤を形成し、低炭素社会の構築を目指す業務。 具体的には、①「地球温暖化対策に関する啓発・広報」、②「地球温暖化防止活動推進員の支援」、③「民間団体等の実態把握と支援」、④「温室効果ガスに関する相談・助言等」、⑤「排出実態の把握・分析」、⑥「連絡調整会議の設置と開催運営」を実施。
環境省／全国センター	平成 29 年度 うちエコ診断実施業務	うちエコ診断士の協力を得ながら、環境省のうちエコ診断を実施。 事前予約の受診者に「うちエコ診断」を実施し、受診者の家庭におけるエネルギー使用状況と CO2 排出量を見える化し、家庭における省エネ活動を支援。
経済産業省／環境共生イニシアチブ	平成 29 年度 省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業	西三河地域 5 市に省エネ相談地域プラットフォームを構築し、11 事業所の省エネ相談に対応。省エネ相談では、省エネ診断の実施や運用改善・設備更新など、省エネ活動の PDCA サイクルの実施に向け、取組みへの誘導・支援を実施。 具体的には、相談窓口の設置・運営、広報活動、省エネ相談の実施、中小企業省エネ実践セミナーの開催（全 5 回）、社員研修等の実施、省エネ診断の案内や実施事例の紹介等を実施。

<助成事業>

助成元	件名	内容
三井住友信託銀行	平成 29 年度 公益信託 地球環境保全フロン対策基金助成事業	4 年目の採択を受けたフロン対策に関わる普及啓発事業で、事業の活動名は、「空気は誰のもの？～フロン対策から世界「空気の日」を考える～」と設定。 空気について考える「空気は誰のもの？基幹シンポジウム」（愛知県、富山県）を 2 ケ所で開催。 地球温暖化防止活動推進センターとして、中部地域の地域センターと連携し、地球温暖化防止活動推進員の草の根的な地球温暖化防止活動の中にフロン対策を盛り込んでいくことを目指した「フロン対策！リレーセミナー」（石川県、福井県、長野県、岐阜県、三重県）を 5 ケ所で開催。 一般市民に向けたフロン対策の普及啓発を実施。

備考) (*) 印は、愛知県温暖化防止活動推進センターの指定に伴う事業。

Ⅱ. 総会・役員会等の開催状況【定款第4章、第6章】

項目	開催状況
総会の開催	<p><総会></p> <p>第83回通常総会〔平成29年度前期〕 開催：平成29年6月15日 会場：名古屋都市センター 議案：平成28年度事業報告案について 平成28年度決算報告案について 任期満了に伴う理事・監事の選任案について その他 出席者：会員48名のうち28名（うち委任状：18名）</p> <p>第84回通常総会〔平成29年度後期〕 開催：平成30年3月23日 会場：ウインクあいち 議案：平成30年度事業計画案について 平成30年度収支予算案について その他 出席者：会員46名のうち25名（うち委任状：18名）</p>
役員会の開催	<p><理事会（役員会）></p> <p>平成29年度前期理事会（出席者：6名/8名） 開催：平成29年5月22日 会場：ウインクあいち 議案：平成29年度（前期）通常総会の開催について 平成28年度事業報告案について 平成28年度決算報告案について 任期満了に伴う理事・監事の選任案について その他</p> <p>平成29年度後期理事会（出席者：4名/6名） 開催：平成30年2月15日 会場：ウインクあいち 議案：平成29年度（後期）通常総会の開催について 平成30年度事業計画案について 平成30年度収支予算案について その他</p>
企画委員会の開催	<p><企画委員会></p> <p>平成29年度第1回企画委員会（出席者：4名） 開催：平成29年9月7日 会場：名古屋都市センター 内容：意見交換 （1）当社団の今後の在り方について （2）温暖化センターの再指定に向けて （3）最近の話題等</p> <p>平成29年度第2回企画委員会（出席者：3名） 開催：平成29年10月17日 会場：ウインクあいち 内容：意見交換 （1）愛知県環境部等へのアプローチについて （2）当社団としての特徴的な事業テーマについて</p>

- (3) 当社団の今後の在り方について
- (4) 温暖化センターの再指定に向けて

平成 29 年度第 3 回企画委員会(出席者：5 名)

開催：平成 30 年 3 月 14 日

会場：名古屋都市センター

内容：意見交換

- (1) 平成 29 年度の業務実施状況
- (2) 愛知県地球温暖化防止活動推進センターの指定
- (3) 「EPO 中部運營業務」企画競争の特定
- (4) 「EPO 中部（中部 ESD センター）」の運営方法
- (5) 「愛知県地球温暖化防止活動推進センター」の運営方法